

令和7年度第2回札幌方面赤歌警察署協議会議事概要

1 開催日時

令和7年9月18日（木）午後4時00分から午後5時00分まで

2 開催場所

赤歌警察署 2階大会議室

3 出席者

(1) 協議会委員 5人（定員6人）

会 長 佐藤友美

副 会 長 櫻庭敏夫

委 員 曾我部芳子、早坂みゆき、虻川善智

(2) 警察署員 5人

署 長 新井伸昭

副 署 長 畠山 傑

刑事・生活安全課長

安江 厚

地域・交通課長兼歌志内交番所長

保 稔哉

事務局（警務係長）

4 会長挨拶

5 署長挨拶

6 業務概況説明

(1) 警察安全相談受理状況

(2) 110番受理状況

(3) 刑法犯発生件数

(4) 犯罪抑止啓発活動

(5) 交通事故の発生状況

(6) 交通事故防止対策の状況

(7) その他各種警察活動

7 要望・意見に対する措置状況等

意見 北海道警察が配布している「ほくとポリス」アプリは、地域における事件事故等の情報をいち早く住民に知らせる上で有用と考えられるが、8月30日、赤平市内において行われる「赤い羽根共同募金チャリティー」に赤歌警察署も参加し、「ほくとポリス」アプリを広く周知してはどうか。

措置 当署員7名が同チャリティーに参加し、寸劇形式で「ほくとポリス」アプリの普及啓発を行いました。

意見 赤歌警察署の統廃合については、広く住民に周知すべき情報であるところ、9月9日、赤平市内において行われる「多職種研修会」に赤歌警察署も参加し、統廃合について広く周知してはどうか。

措置 副署長が同研修会に参加し、警察署の再編整備計画の説明及び「ほくとポリス」アプリの普及啓発を行いました。

8 諮問事項

○ 「特殊詐欺、SNS型投資・ロマンス詐欺の現状」

委員の意見

【委員】 特殊詐欺についてですが、こうした事件では、犯人は被害者に対して無差別に電話をかけてきているのですか。

それとも、初めから被害者に財産があることを分かっている電話をかけてきているのですか。

【警察】 状況にもよりますが、最近は無差別に電話をかけてきているものが多いとみられます。

【委員】 NTTを名乗る不審な電話が弊社にもかかってきましたが、私はすぐに電話を切りました。

どうして何千万円もだまし取られる人がいるのか不思議に思っていました。議題での丁寧な説明を聞いてその理由がよく分かりました。

9 その他の意見と警察の説明

【委員】 赤平市ではDV事件が増えているのでしょうか。

【警察】 当署管内におけるDV事件の件数は、例年、そう多くはありませんが、昨年と比較してDV事件に占める高齢者世帯の割合は多くなっています。

事案の中には認知症が関係している場合もありますので、そのよ

うな場合は、特に当事者の御家族を含めた対応が必要となります。

【委員】 コンビニ店員が特殊詐欺を防止したことで署長感謝状を贈呈したと聞きましたが、こういった詐欺だったのでしょうか。

【警察】 インターネット閲覧中、パソコンがコンピュータウイルスに感染した旨の画面が表示され、「除去するために電話を下さい。」という画面上の案内に従って電話をかけたところ、犯人からアップルギフトカードの購入及び同カードに記載された番号を連絡するよう指示されたものです。

被害を疑ったコンビニ店員の機転により被害者を1人減らすことができました。

【委員】 家の電話に「いないものを買いたい。」といった、いわゆる『押し買い』の電話が頻繁にかかってきます。

おそらくは宝石などを安くで買い取ろうとしているのだと思いますが、家の中に強引に上がり込んできてなかなか出て行かないという話も聞きます。

【警察】 いわゆる『押し買い』については当署においても相談を受理していますが、全国的に見れば、他にもボイラーの点検と称して法外な料金を請求する『点検商法』や、ゴミの処分料として法外な料金を請求するなどといった事例も多いと聞きます。

これらの多くは高齢者を狙っているものとみられますが、やはり「怪しいと思ったら対応しない」、「家の中には絶対に入れない」という気持ちが防犯においては必要不可欠なのだろうと思います。